

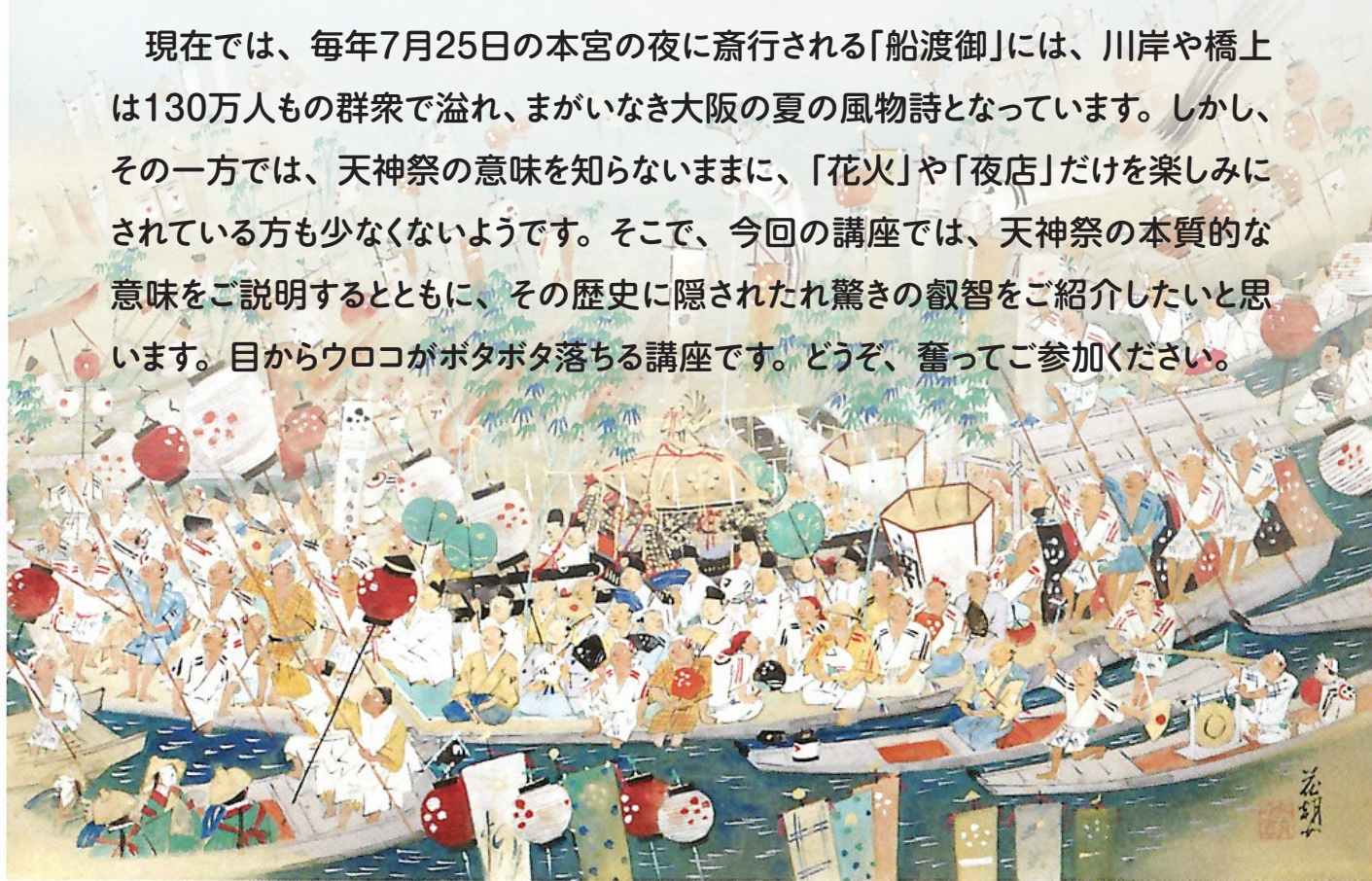
令和七年

天満天神講座

「天神祭の基本の基」

大阪天満宮は平安中期の天暦3年(949)に創祀され、その翌年には天神祭が斎行されました。千年を優に超える歴史に彩られながら、江戸後期には「日本三大祭」の一つと称されるまでに発展しました。

現在では、毎年7月25日の本宮の夜に斎行される「船渡御」には、川岸や橋上は130万人もの群衆で溢れ、まがいなき大阪の夏の風物詩となっています。しかし、その一方では、天神祭の意味を知らないままに、「花火」や「夜店」だけを楽しみにされている方も少なくないようです。そこで、今回の講座では、天神祭の本質的な意味をご説明するとともに、その歴史に隠された驚きの叢智をご紹介します。目からウロコがボタボタ落ちる講座です。どうぞ、奮ってご参加ください。



生田花朝「天神祭」

日 時

6月7日 土

18:00-19:30

講 師 大阪天満宮 文化研究所所長 高島 幸次

場 所 大阪天満宮 梅香学院3階

受講料 1,000円

申込先 天満天神御伽衆 otogijuku2024@gmail.com

件名に「天満天神講座」、本文に「御名前・御年齢」を記入の上、上記メールへお申し込みください(6月4日締め切り)。